

2026 年度一般社団法人日本ゴールボール協会事業計画（案）

1.大会関係事業

(1) 主要大会

■2026 日本ゴールボール選手権大会女子予選大会

日程：2026 年 7 月 19 日（日）・20 日（月祝）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地

備考：2 コート

■2026 日本ゴールボール選手権大会男子予選大会

日程：2026 年 9 月 20 日（日）・21 日（月祝）・22 日（火祝）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地

備考：2 コート

■2026 日本ゴールボール選手権大会

日程：2026 年 11 月 21 日（土）・22 日（日）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地

備考：2 コート

※参加費変動あり：社会人 7,500 円・学生等 3,000 円

※YouTube 配信については変更の可能性あり

(2) 共催大会

■2026 ジャパンパラゴールボール競技大会（JPSA 主催）

日程：未定

会場：未定

〒

備考：1 コート

参加チーム数により日程調整をする

【オフィシャルクリニック】

■オフィシャルクリニック①

日程：2026 年 5 月 30 日（土）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木 5 丁目 3 番地

※レフェリークリニックと同時開催

■オフィシャルクリニック②

日程：2026年8月2日（日）

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

※C級レフェリー認定試験と同時開催

■オフィシャルクリニック③（大会参加経験者、オフィシャルクリニック受講者対象）

日程：2026年10月4日（日）

会場：所沢市民体育館またはオンライン

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

※レフェリークリニックと同時開催

【レフェリークリニック】

■レフェリークリニック①

日程：2026年5月30日（土）※実技

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

※オフィシャルクリニックと同時開催

■レフェリークリニック②

日程：2026年10月3日（土）座学・10月4日（日）実技

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

※オフィシャルクリニックと同時開催

(3) 認定試験

■C級レフェリー認定試験

日程：2026年8月1日（土）座学・8月2日（日）実技

会場：所沢市民体育館

〒359-0042 埼玉県所沢市並木5丁目3番地

※オフィシャルクリニックと同時開催

■B級レフェリー認定試験

日程：未定

会場：男女予選大会

東京パラリンピック前後にはオフィシャルクリニックの参加者が多く、公認オフィシャルの数も増加しました。その後、これらの公認オフィシャルの多くがこの2年間で公認レフェリーへとステップアップされましたことは、大変喜ばしい成果です。一方で、公認オフィシャルの人数は減少傾向にあり、来年度はオフィシャル数の増加が急務となっております。そのため、募集先もこれまで以上に広げる予定です。

レフェリークリニックについては、公認レフェリーになったばかりの方々に加え、現任レフェリーの技術向上を目的としています。これまでは「現任レフェリー勉強会」として1日の実技中心で実施していましたが、来年度はC級レフェリーの方々に重点を置き、1日の座学と1日の実技の2日間構成といたします。

2. 普及啓発部

(1) 「盲学校体育連盟等との連携事業(拡大版)」

全国盲学校体育連盟と連携し、ゴールボール競技への取り組みを始めようとする学校を訪問し、児童生徒に加え、先生方にも参加いただき、競技普及及び啓発に向けた体験や指導方法の工夫についても伝える。また、視覚障害とその他の障害を併せ持つ児童生徒の運動やリハビリテーションとして、ゴールボールが持つ可能性を伝える。

また、一般校で学ぶ「見えない・見えにくい児童生徒」へのゴールボール普及及び啓発事業を展開する。具体的には、当該児童生徒やその友人、保護者、教員へとゴールボールの輪を広げ、ブラインドスポーツ普及への新たなモデルケースになるよう努める。

<対象：全国盲学校体育連盟に所属する全国各盲・視覚支援学校と、一般校で学ぶ視覚障害児童生徒(東京都弱視教育研究会等)>

日程等：未定

(2) 2026 チャレンジゴールボール大会 Supported by デイ・クリエイト

ゴールボールの基本動作からゲームまでを体験できる初心者向け体験事業。

初心者・興味のある方の交流型大会。8地域にて開催。

<対象：原則、高校生以上、障害の有無問わず、チーム・個人でも参加可能>

◎2026 チャレンジゴールボール北海道・東北大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2026年6月21日(日) 会場：盛岡市西部公民館

◎2026 チャレンジゴールボール中国大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2026年7月5日(日) 会場：やまぐちリフレッシュパーク

◎2026 チャレンジゴールボール近畿大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2026年8月9日(日) 会場：兵庫県立視覚特別支援学校

◎2026 チャレンジゴールボール北信越大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2026年9月27日(日) 会場：セーレンドリームアリーナ(福井県)

◎2026 チャレンジゴールボール四国大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2026年11月15日(日) 会場：愛媛県身体障がい者福祉センター

◎2026 チャレンジゴールボール九州大会 Supported by デイ・クリエイト

日程：2026年12月13日(日) 会場：クローバープラザ(福岡県)

◎2026 チャレンジゴールボール関東大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2027年2月7日(日) 会場：埼玉県障害者交流センター

◎2026 チャレンジゴールボール東海大会 Supported by デイ・クリエイト
日程：2027年2月21日(日) 会場：岐阜県福祉友愛アリーナ

(3) アドバンスカップ

チャレンジ大会への出場経験があり、今後、日本選手権（男女予選大会）への出場を目標に掲げているチームの競技力向上及びベンチワークといったチームの総合力アップを図るため、公式競技規則に準じて試合を行うことにより、さらなる学びを深める。

レフェリー、オフィシャルスタッフも研修の場とし、経験値向上を図り、本大会を通じて、互いに高め合うことを目的とする。

<対象：原則チャレンジ大会に参加したことがあるチーム>

◎日程：2026年9月13日(日) 会場：東京都障害者総合スポーツセンター（東京都）

◎日程：2026年10月4日(日) 会場：守山市民体育館（滋賀県）

(4) ゴールボールタッチキャラバン

大型商業施設やパラスポーツ体験イベント等で、その場を訪れた多くのお客様にボール・アイシェードに触れて頂きゴールボールの認知度を高め、あらゆる面で競技を支えて頂ける方を増やすことを目的とする。本年度、年間2回を開催する。

日程：未定

会場：未定

(5) その他体験会・講演会協力

◎「都立特別支援学校活用促進事業」 依頼：東京都スポーツ文化事業団

日程等：未定

◎「パラリンピック競技体験授業」 依頼：新宿区教育委員会

日程等：未定

◎「ゴールボール体験授業」 依頼：埼玉県本庄市教育委員会スポーツ推進課

日程等：未定

◎「眼科領域ゴールボール交流会」 依頼：iGBNet

日程：2027年3月6日(土) 会場：愛媛県身体障害者福祉センター

3. 広報部

(1) 基本方針

- ①「見えにくい競技」から「物語として伝わる競技」へ
- ②HP・SNS・メディアを分断せず、「使われる広報素材」を起点とした発信へ転換
- ③選手・競技・社会的価値を一貫した文脈で可視化する

(2) 重点事業

①強化指定選手 宣材資料の制作

目的 メディアが「すぐに取材できる」状態を作る

選手個人の背景・競技の社会的意義を同時に伝える

内容 アーティスティックな宣材写真（競技写真＋ポートレート）

以下を統一フォーマットで整理

競技歴・代表歴／競技を始めた背景／強み・プレースタイル

これまでの人生史（物語風）

成果物 選手別「メディア向け選手プロフィール」

HP／SNS／メディア提供用共通素材

効果 メディア側の理解コストを下げ、露出機会を増加

選手個人のブランディングと協会の価値訴求を両立

②ゴールボールの教科書作成（紙＋デジタル）

目的 競技理解のハードルを下げ、普及と競技力向上を同時に進める

指導者・学校・地域で「共通言語」を作る

内容 競技の基本構造・ルール

個人で安全にできる練習方法

初心者から競技者まで段階別構成

視覚障がいへの配慮（図解・表現方法）

成果物 日本初の「ゴールボール教科書」

将来的な映像教材・研修展開の基盤

効果 普及・育成の属人化を防止

地域格差の是正

③メディア向け体験会の実施

目的 「理解」ではなく「体感」から競技を伝える

メディアとの継続的關係構築

内容 ゴールボール体験（アイシェード着用）

選手・コーチによる解説

写真・動画撮影しやすい環境整備

成果物 体験記事・特集記事の創出

SNS・動画メディアでの二次拡散

効果 単発露出ではなく「語れる記者」の育成

④HP「見られていない」状況の打破

課題認識

情報はあるが、見られていない・使われていない

対応方針

HPを「置き場」から「ハブ」へ転換

具体策 SNS 投稿 → HP 詳細ページへの導線設計

メディア・企業が使いやすい構造（DL・引用）

更新情報を整理し、メルマガでも記載

効果 広報資産の再利用性向上

情報の滞留・死蔵を防止

⑤パートナー企業との SNS 連携

目的 競技価値を企業の文脈に接続

双方にメリットのある広報モデル構築

内容 パートナー企業 SNS との相互発信

選手・競技・社会的価値を絡めた投稿企画

営利用と普及目的の線引きを明確化

効果 協会単独では届かない層へのリーチ

スポンサー価値の可視化

(3) 2026 年度事業計画メッセージ

広報とは「伝えること」ではなく、「環境を整えること」である

広報はしばしば「情報発信」と同義に語られます。

しかし、ゴールボールのように本質や価値が伝わりにくい競技において、単に情報を並べるだけでは、人の理解や共感には届きません。

広報の役割とは、選手・競技・社会的価値が、正しく理解され、安心して語られ、自然に広がっていくための“環境”を整えることです。

選手を守るとは、露出を減らすことではない

選手を守るとい言葉は、しばしば「表に出さないこと」と誤解されがちです。

しかし実際には、背景や文脈が共有されないまま露出することこそが、選手を消耗させる最大の要因になります。

だからこそ広報部は、「選手の競技人生や価値観が誤解なく伝わる素材を整え、メディアが“推測”ではなく“理解”をもって取材できる状態をつくり、選手自身が、自分の言葉と姿で語れる場を設計する」という役割を担います。

それは露出を増やすための広報ではなく、露出が選手の力になるための環境整備です。

競技を広げるとは、ルールを説明することではない

ゴールボールの価値は、ルールの説明だけでは伝わりません。

「なぜ音が重要なのか」

「なぜ沈黙が戦術になるのか」

「なぜこの競技が、人の感覚や社会のあり方を問い直すのか」

それらは、物語として初めて理解されます。

教科書の制作や体験会の実施は、競技を“教える”ためではなく、競技が持つ思想と構造を、誰もが自分の言葉で語れるようにするための基盤づくりです。

社会的価値は、説明されるものではなく、伝播するもの
共生、インクルージョン、教育的価値。

これらは「掲げる」だけでは社会に届きません。

選手の姿を通して、競技体験を通して、企業やメディアとの対話を通して、社会の側が自ら意味を見出していく環境が必要です。

広報部の役割は、価値を定義することではなく、価値が発見され、共有され、広がっていく導線を設計することにあります。

4. マーケティング部

日本ゴールボール協会（JGBA）は、自主財源確保の必要性に迫られています。これは組織がより自立し、持続可能な形へと進化する大きなチャンスでもあると捉え以下を 2026 年度は事業計画化したいと考えます。

スポーツ庁や日本パラリンピック委員会（JPC）の方針は、単なる「競技力向上」だけでなく、「スポーツの産業化」「社会的価値の創出」に重点を置いています。これらの視点を取り入れ、ゴールボールという競技の特性を活かした自主財源確保のアプローチを検討したいと考えます。

中心となる考え方は、「支援をお願いする（Donation）」から「価値を提供する（Business）」への転換です。

(1) スポンサー契約実施項目 A（企業ロゴ露出）

- ①日本代表公式ゲームシャツ（上）を始めとするウェア全般における
パートナー企業様のロゴ掲出権の制作履行
- ②合宿時・遠征時用における横断幕へのパートナー企業様のロゴ掲出権の制作履行
（5社分）
- ③2027 年度契約作業（11 月頃よりたたき台配布）
- ④強化スタッフ用、普及・啓発部スタッフ用、広報部・マーケティング部スタッフ用
ロゴ入り等の制作

(2) スポンサー契約実施項目 B（アクティベーションプログラム）

- ①社員研修や商品開発に貢献する契約内容履行
 - ・商品サービス提供権（選手への謝礼程度）
 - ・ゴールボール体験会（特別価格）
 - ・代表選手・スタッフの派遣権（年 1 回）講演会など
 - ・選手・スタッフとの 1 日生活体験提供

(3) 年度内活動計画費

- ①パートナーMTG（パラサポ：6 月 12 日予定）の開催
- ②パートナー交流大会（12 月 5 日予定）の開催

(4) 年度内継続活動計画

- ①スポンサー獲得のための営業活動
 - ・ゴールボール体験会のパラアリーナにおける実施（年2回程度）
 - ・HPによる情報収集&情報分析
 - ・様々なルート開発及び資料作成（HP強化、代理店、各種Net、ゴールボールの魅力再発見PJなど）
- ②アソシエイツ・プログラムを中心とした提携に関する営業活動
 - ・行政、団体+市民、住民+協会（情報集約・提供、環境整備、選手発掘）
- ③日本選手権大会の会場満員化計画・実施作業
 - ・招待リストUP（来賓：パートナー企業様、文科省/スポーツ庁・JPSA/JPCなどを始めとする官公庁、地方自治体、その他：学校・団体、選手所属先企業など）
 - ・来賓受付などの現場対応（「来賓席」などの張り紙対応などを含む）
 - ・企業側の観戦者増加施策の施行【パートナー様持込：告知PRバナー×2枚、応援グッズ持込など】
- ④アレンジ活動
 - ・スポンサー合宿所見学ツアー（企業側の企業紹介プレゼン付き）
所沢ネクストオリオン合同：8/22 or 23、NTC-E：9/5～13の年2回
1回10名程度
- ⑤新規事業作成に向けての営業開発作業
 - ・企業+団体+協会+社会課題の解決に向けての取組
- ⑥パートナー企業へのロングインタビューの実施

5. 強化委員会

(1) トップカテゴリー

≪2026年≫

- ① 4月4日～4月12日 NTC イースト
- ② 【マルモ遠征：Malmo Lady Intercup 2026（女子）】
開催地：マルモ（スウェーデン）
大会日程：4月30日～5月3日
- ③ 5月2日～10日 NTC イースト（男子）
- ④ 5月23日～6月5日 NTC イースト
- ⑤ 【杭州世界選手権】
開催地：杭州（中国）
大会日程：6月6日～16日
- ⑥ 7月4日～12日 NTC イースト（オーストラリア招聘？）
- ⑦ 8月8日～16日 NTC イースト
- ⑧ 9月5日～13日 NTC イースト
- ⑨ 10月3日～14日 NTC イースト
- ⑩ 【アジアパラゲームス】
開催地：豊橋市体育館（愛知県）
大会日程：10月17日～23日

- ⑪ 11月6日～8日 広島（予定）
- ⑫ 12月12日～20日 NTC イースト
- <<2027年>>
- ⑬ 1月9日～17日 NTC イースト（ブラジル招聘事業予定）
- ⑭ **【ジャパンパラゴールボール競技大会】**
 開催地：未定
 大会日程：未定
- ⑮ 2月13日～21日 NTC イースト
- ⑯ 3月13日～21日 NTC イースト
- ⑰ **【Nations Cup】**
 開催地：ベルリン（ドイツ）
 大会日程：未定

(2) 次世代カテゴリー

<<2026年>>

- ① 4月25日～26日 所沢市民体育館
- ② 5月16日～17日（練習会）所沢市民体育館
- ③ 6月27日～28日 所沢市民体育館
- ④ 7月25日～26日 所沢市民体育館
- ⑤ 8月21日～23日（22日～23日はネクストオリオンキャンプ） 所沢市民体育館
- ⑥ 9月26日～27日 所沢市民体育館
- ⑦ 10月10日～11日（練習会） 所沢市民体育館
- ⑧ 11月28日～29日 所沢市民体育館
- ⑨ 12月12日～13日 所沢市民体育館

<<2027年>>

- ⑩ 1月23日～24日 所沢市民体育館
- ⑪ 2月6日～7日 所沢市民体育館

6. アンチ・ドーピング委員会

- ・7月及び9月 日本選手権出場選手・サポートスタッフに対してのアンチドーピング講習会（オンラインにて実施）
- ・7月及び9月 日本選手権各予選会時にアウトリーチブース設営運営
- ・～12月まで 強化指定 A,B,C1 アンチドーピング講習会（対面にて実施）
- ・～12月まで 強化スタッフ アンチドーピング講習会（対面にて実施）
- ・～12月まで 強化指定 C2,D,E アンチドーピング講習会（対面にて実施）
- ・～12月まで 育成対象スタッフ アンチドーピング講習会（対面にて実施）
- ・11月 日本選手権大会ドーピング検査の実施

7. アスリート委員会

【背景と目的】

昨年度より、アスリート委員会の活動を本格的に開始することができました。今年度も以

下の3つの柱を軸に活動を定着させていきたいと考えています。

(1) アスリートの環境改善事業

- ①アスリートの声を集約し、関連部会または理事会に意見を提出する。
- ②アスリート間のコミュニケーション活性化を図る。
- ③月刊ゴールボールマガジンや LINE グループなどを活用し、アスリート委員会の認知向上を目指し、アスリートがより意見を伝えやすい環境を構築する。

(2) 連携事業

- ①オフィシャルクリニックなど他部会主催事業への協力
- ②アスリート⇄アスリート委員会⇄各部署との連携を強化する。
- ③中央競技団体との連携
- ④その他、アスリートに関わる事業への協力

(3) 体験会「みんなでゴールボール in〇〇」事業

アスリートの価値向上及び競技普及、アスリートの競技環境拡大を目的に今年度も下記の日程で実施する。

①みんなでゴールボール in 奈良

日時：12月6日（日）

場所：奈良市総合福祉センター

②みんなでゴールボール in〇〇

日時：未定

場所：未定

上記以外にも、依頼によって各部会と連携しながら、適宜開催予定

8. コンプライアンス委員会

(1) 平時の体制整備

スポーツ団体ガバナンスコードに基づき、コンプライアンス委員会を適切に運営します。

また、通報制度については、「より分かりやすく、相談しやすい通報システム」を目指し、関連規程の整備および運用の見直しを進めます。

(2) 研修の企画・実施

コンプライアンス違反事案の未然防止を目的として、対象ごとに以下の研修を実施します。

① 役職員向け

適切な組織運営の在り方や、関係法令の理解を中心としたコンプライアンス教育を実施します。

② 選手・指導者向け

スポーツの価値を体現する立場としての心構えや倫理観の醸成を図り、それぞれが陥りやすい違反事案の防止に重点を置いた教育を行います。

③ 審判員向け

公平・公正・安全な競技運営を通じて選手の基本的な権利を守るという役割を踏まえ、審判員としてのあるべき姿や、不公正な判定の防止等についての教育機会を積極的に設けます。

【研修概要】

・日本パラスポーツ協会（JPC）等が開催するスポーツインテグリティ研修・ガバナンス研修の周知

・対面研修：2026年度7月～8月開催予定の強化合宿内で実施を検討中

9. コーチ・指導員養成委員会

(1) 普及指導員養成講習会

- ① 7月 5日（日） やまぐちリフレッシュパーク
- ② 8月 9日（日） 兵庫県立視覚支援学校
- ③ 9月27日（日） セーレンドームアリーナ（福井県）
- ④ 10月 4日（日） 守山市民体育館（滋賀県）
- ⑤ 11月15日（日） 愛媛県身体障がい者福祉センター
- ⑥ 12月13日（日） クローバープラザ（福岡県）
- ⑦ 2月21日（日） 岐阜県福祉友愛アリーナ

※各回、定員は10名。

(2) C級コーチ養成講習会

7月 NTCイースト 実施予定